

浮世絵のもうひとつの世界
プライベート版画・摺物の歴史と魅力をひもとく308点

江戸 粋人たちの贈り物 摺物

平成9年度秋季特別展

10月21日火 - 11月24日月

休館日●月曜日/11月3日開館 翌4日休館、11月24日開館

開館時間●午前10時 - 午後6時(入場は5時30分まで)

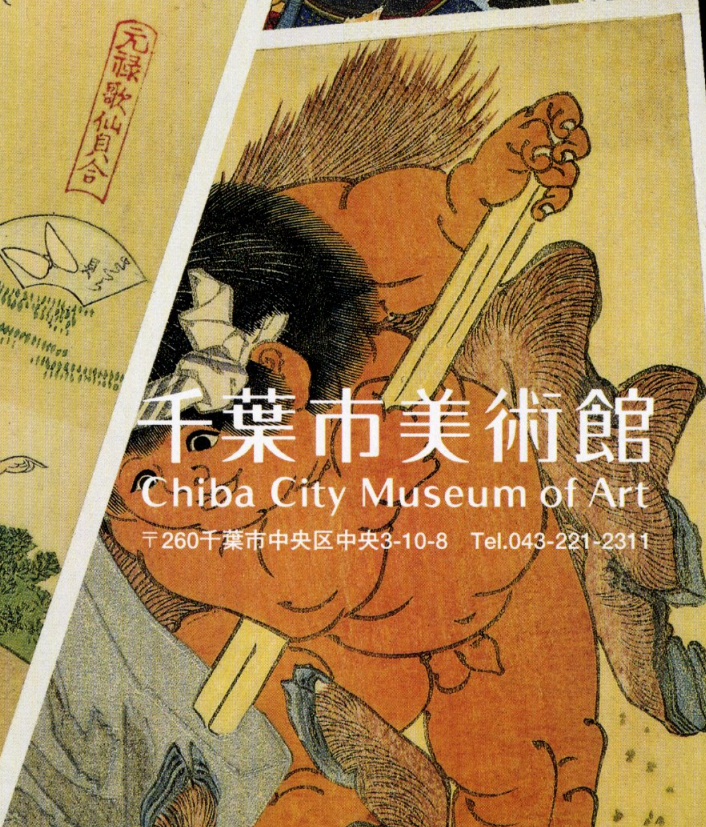
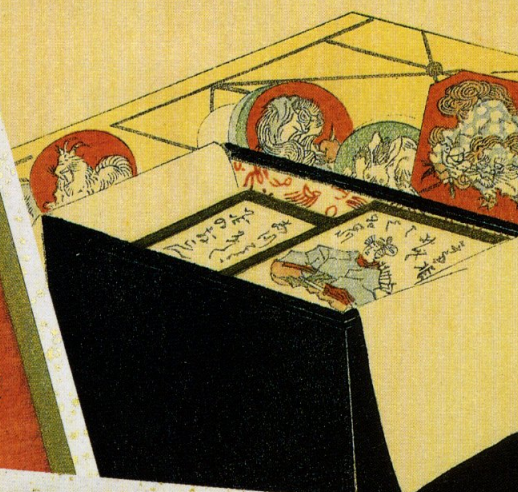
*ただし毎週金曜日は午後8時まで入場は7時30分まで

入場料●一般一〇〇〇円(八〇〇円)/大学生高校生七〇〇円(五六〇円)

中小学生三〇〇円(二四〇円) * (内は団体30名以上及び前売の料金)

主催●千葉市美術館・読売新聞社

武者お竹梅番續



千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260千葉市中央区中央3-10-8 Tel.043-221-2311

粹人たちの贈り物 江戸の摺物

注文制作による非売品の版画のことを摺物といいます。俳人たちによる俳諧摺物、狂歌師たちによる狂歌摺物、その年の大の月小の月を入れた大小略暦、長唄・浄瑠璃のお披露目の案内、店の宣伝、追善摺物など、江戸時代は、摺物文化と呼べるほどにさまざまな摺物が作られていました。

特に19世紀前半の文化・文政・天保時代の江戸では、狂歌摺物が全盛を極め、手の込んだ豪華なものが多数作られています。江戸の粹人たちは、毎年、工夫をこらした摺物を作り、新年の贈り物にしながらお互いに楽しんでいました。

この展覧会は、ヨーロッパからの里帰り品176点を中心に、合計308点の作品によって、摺物の歴史をひもとき、その魅力をさぐる日本初の総合的な摺物展です。特に俊満・北斎・北溪・国貞・国芳・広重たち浮世絵師による狂歌摺物の味わいは格別で、売品の浮世絵版画にはないものです。そこには浮世絵のもうひとつの世界が広がっています。

◎講演会＝10月26日(日)午後2時より
場所＝千葉市美術館11階講堂にて
講師＝雲英末雄「俳諧一枚摺とその魅力」
浅野秀剛「狂歌摺物とその魅力」
◎ギャラリートーク(当館学芸員による)
会期中の毎水曜日および11/1、11/8、11/15の土曜日の午後2時より(計8回)
*当日展示室前にて受付

千葉市美術館 〒260 千葉市中央区中央3-10-8
TEL.043-221-2311

展覧会のご案内:ハローダイヤルTEL.043-227-8600
*なお来館者用駐車場は少ないので、自家用車での来館はご遠慮ください。

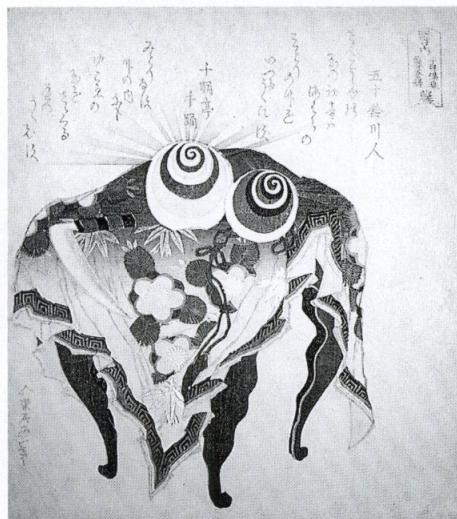
- JR総武線千葉駅東口より徒歩15分
- JR千葉駅前から
- 京成バス大学病院行(のりば7)「大和橋」下車徒歩2分
- 京成バス矢作台市営住宅・川戸行(のりば7)または小湊バス八幡宿駅行(のりば4)「広小路」下車徒歩1分
- 無料シャトルバス「チーバス」(のりば19) 11:00-18:00の毎時05分と35分に出発(水曜日運休)「中央区役所・美術館前」下車
- 京成千葉中央駅より徒歩10分



北馬「紅毛男女額絵」
神戸市立博物館蔵



北深「金のしゃちほこ」
シャック氏蔵



北斎「四性ノ内 藤」
ブルヴェラー氏蔵



燕村「諫駁鳥図」
柿衛文庫蔵



北溪「鬼若丸と鯉」
ケンブリッジ大学付属フィッツウィリアム美術館蔵



俊満「葉の花に蝶」
千葉市美術館蔵



北斎「吉野山貴人の花見」
銀座東京羊羹蔵